

第4位

古屋石塚テクノパークが 売 完 (1月)

あわら市の工業団地「古屋石塚テクノパーク」に東工サッシュ株式会社(福井市)とイヌイ株式会社(大阪府)



の工場進出が決定し、1月27日に市役所で立地に関する協定書の調印式が行われました。2社の工場進出によって、分譲していた工業団地は売完となりました。

第5位

越前加賀インバウンド推進機構を設立 (5月)

あわら市、勝山市、坂井市、永平寺町および石川県加賀市で「越前加賀インバウンド推進機構」を設立。5市町が連携して、近年大幅に増加している訪日外国人をターゲットに、宗教文化のほか食や温泉、自然などの魅力を国内外に向けて発信していきます。



第6位

映画「ちはやふる」公開 (3・4月)

あわら市とゆかりの深い「ちはやふる」の実写版映画が「上の句」と「下の句」の二部構成で公開され、大ヒットを記録しました。撮影は市内でも行われ、大勢の市民の皆さんにロケ時の炊き出しやエキストラとしてご協力いただきました。



あわら市もたくさん登場するDVD「上の句」「下の句」は好評発売中です。

第8位

あわら市子育て世代包括支援センター (愛称「こあらっこ」)を設置 (4月)

妊娠期から子育て期のお母さんやお父さんのための総合相談窓口をオープン。保健師や看護師の専門スタッフが妊娠・出産・子育ての相談に応じたり、各種サービスを紹介したりするなど、ママやパパのニーズに合わせて子育てを応援します。



第10位

パナソニックと共同で宅配ボックス の実証実験をスタート (10月)

市では、パナソニック株式会社エコソリューションズ社と共同で、戸建住宅用宅配ボックスの実証実験をスタートさせました。宅配ボックスの普及を促進することで、再配達によるストレス軽減や配送車の運行減による二酸化炭素排出量の削減につながると考えられています。今回の実験は、その効果を実証するための全国初の試みとなります。



第7位

第2次あわら市総合振興計画を策定 (3月)

平成18年度に策定した「あわら市総合振興計画」の計画期間満了を受けて、2カ年をかけ、市民と共働で「第2次あわら市総合振興計画」を策定しました。平成37年度までを計画期間とするこの計画では、基本理念を「暮らしやすく 幸せを実感できるまち」とし、幸福度日本一の福井県の一番幸福なまちを目指します。



第9位

「金津祭」を市無形民俗文化財に指定 (5月)

金津地区で開催されている「金津祭」があわら市無形民俗文化財に指定されました。市内では、県指定「北潟古謡どっしやどっしや」に続き、2件目の無形民俗文化財指定。市指定としては今回が初めてとなります。



あわら市10大ニュース

～2016年～

第1位

地域ブランド創出事業スタート (7月)

7年後の北陸新幹線県内延伸を見据え、あわら市独自の地域ブランドの創出と芦原温泉駅周辺の将来デザインの検討に着手しました。作業に当たっては、有識者や学識経験者による「あわら市地域ブランド戦略会議」を設置。会議の作業チームとして「ブランド専門部会」と「芦原温泉駅まちづくりデザイン部会」を置き、市民に愛され、市内外の人が訪れたいようなまちづくりを目指しています。



第2位

波松小学校と吉崎小学校が休校 (3月)

近年の少子化の進行に伴い、あわら市でも児童・生徒数は年々減少し、学校の小規模化が進んでいます。子どもたちにとってより望ましい教育環境を整備するため、平成28年4月から波松小学校を北潟小学校へ、吉崎小学校を細呂木小学校へ統合しました。



第3位

県立芦原青年の家が新築移転 (7月)

施設の老朽化が進んでいた県立芦原青年の家が、新築移転しました。新しい施設は北潟湖を臨む高台に位置し、研修室や宿泊室、体育館のほか、屋外にはキャンプ場やグラススキー場、カヌー艇庫などを備えています。北潟湖畔の豊かな自然環境の中でさまざまな体験ができる社会教育施設の利用が期待されます。

